



弘法大師坐像(萬日大師)
室町・桃山時代(16〜17世紀)
和歌山・金剛堅寺

弘法大師・空海

讃岐国に生まれる。親族に勉学の道を勧められるも、仏道に進むことを決意。延暦23年(804)遣唐使の一員として入唐し、恵果より体系的な密教を伝授される。滞在期間を大幅に短縮して帰国。密教による人々の救済と護国を目指す。体系的な密教、護国修法などが天皇や朝廷に高く評価された。密教への理解を広げるため、多数の著作を執筆し、日本の真言密教を確立した。承和2年(835)高野山にて入定。

KŪKAI

「虚空尽き、衆生尽き、涅槃尽きなば、わが願いも尽きなん。」(『性霊集』巻第八)

(この世の全ての物が消滅し、仏法の世界が尽きるまで、私は人々が救われることを願い続ける)

衆生救済を願った空海が人々を救うためにたどり着いたのは密教でした。空海は、中国・唐にわたり、師匠の恵果から密教のすべてを受け継いだと言われます。

本展では、密教がシルクロードを經由し東アジア諸地域、そして日本に至った伝来の軌跡をたどることにより、空海が日本にもたらした密教の全貌を解き明かします。また、多数の仏像や仏画により、空海が「目で見えてわかる」ことを強調した密教の「マンダラ空間」を再現するとともに、各地で守り伝えられてきたゆかりの至宝を一堂に展示し、空海と真言密教の魅力を紹介しします。

「三筆」空海の直筆史料も多数展示!

空海は語学や建築にも通じた

天才であったと言われますが、書の名手でもあり、

この時代の最も秀でた3名(三筆)の一人とも称されています。

本展では、空海の直筆も多数展示します。

空海が最澄に宛てた手紙



国宝 風信帖

平安時代(9世紀) 京都・教王護国寺(東寺) [前期展示]

番組情報



NHK・総合「歴史探偵」

4月24日(水)午後10時〜10時45分 予定

音声ガイド



ナビゲーター:声優・斉藤壮馬さん

アニメ、ゲーム、ナレーション、朗読劇など多岐にわたって活躍する声優・斉藤壮馬さんが音声ガイドナビゲーターを務めます。

◎解説ナレーター:恒松あゆみさん
◎1台650円(税込)

公開講座

① 4月27日(土)

「空海マンダラの世界 一宇宙へのいざない」

講師:松長 潤慶 氏(高野山大学副学長)
受付期間:4月1日(月)午前10時〜4月15日(月)午後5時

② 5月18日(土)

「日本仏教史における空海と密教」

講師:斎木 涼子(奈良国立博物館副学長)
受付期間:4月22日(月)午前10時〜5月6日(月・休)午後5時

③ 5月25日(土)

「高雄曼荼羅 一弘法大師御筆の両界曼荼羅」

講師:谷口 耕生(奈良国立博物館企画室長)
受付期間:4月30日(火)午前10時〜5月13日(月)午後5時

時間:午後1時30分〜3時(開場午後1時)

会場:奈良国立博物館 講堂

定員:各180名(事前申込抽選制)

※奈良国立博物館ウェブサイト「講座・催し物」→「公開講座」申し込みフォームより必要事項をご入力の上、お申し込み下さい(WEB申し込みのみとなります)。

※聴講無料(観覧券等の提示は不要です)。
※参加証で観覧会場に入場することはできません。
※当選者にキャンセルが発生した場合、繰り上げ当選連絡を行います。詳細はウェブサイトをご覧ください。
※入場受付は講座開始後30分で終了します。

5月26日(日)午後1時30分・3時30分(各回10分)

関連イベント

展示室内で種智院大学の学生(僧侶)による声明(経文に節を付けて唱えて仏を讃嘆する仏教音楽)の実演があります。

チケット販売場所

- ◎ローソンチケット(Lコード:52679 <https://l-tike.com/kukai/>)
- ◎セブンチケット(セブンコード:103-749 <https://7ticket.jp/s/103749>)
- ◎美術展ナビチケットアプリほか

- ◎イープラス(<https://eplus.jp/kukai2024/>)
- ◎ぴあ(<https://w.pia.jp/l/kukai2024/>)
- ◎奈良国立博物館観覧券売場

観覧料金

	一般	高大生	中学生以下無料
当日	2,000円	1,500円	
前売・団体	1,800円	1,300円	

※前売券の販売は、2024年2月13日(火)から4月12日(金)まで。※団体は20名以上。※障害者手帳またはマイロID(スマートフォン向け障害者手帳アプリ)をお持ちの方(介護者1名を含む)、奈良博メンバーシップカード会員の方(1回目及び2回目の観覧)、賛助会員(奈良博、東博[シルバー会員を除く]、九博)、清風会会員(京博)、特別支援者は無料。※本展の観覧券で、名品展(なら仏像館・青銅器館)もご覧いただけます。※奈良国立博物館キャンパスメンバーズ会員(学生)の方は100円、同(教職員)の方は1,900円で当日券をお求めいただけます。観覧券売場に学生証または職員証をご提示ください。

最新情報は展覧会公式サイトへ
<https://kukai1250.jp/>

◎展覧会公式X:@kukaiten2024

◎展覧会公式YouTubeチャンネル:@kukaiten2024



〒630-8213 奈良市登大路町50番地(奈良公園内)

交通案内

近鉄奈良駅下車徒歩約15分、またはJR奈良駅・近鉄奈良駅から市内循環バス(外回り)「水室神社・国立博物館」下車すぐ

奈良国立博物館
NARA NATIONAL MUSEUM

お問合せ 050-5542-8600(ハローダイヤル)

奈良国立博物館ウェブサイト <https://www.narahaku.go.jp/>

表面作品上から時計回りに:国宝 金剛密教法具 中国・唐(9世紀) 京都・教王護国寺(東寺)/国宝 両界曼荼羅(高雄曼荼羅)のうち金剛界[部分] 平安時代(9世紀) 京都・神護寺 [後期展示]/
国宝 錫杖頭 中国・唐(9世紀) 香川・善通寺/国宝 五智如来坐像のうち大日如来 平安時代(9世紀) 京都・安祥寺/重要文化財 不動明王坐像 平安時代(9世紀) 和歌山・正智院

空 海

生誕1250年 記念特別展



Special Exhibition
Celebrating the 1,250th Anniversary of Priest Kukai's Birth
The Worlds of Mandalas and
the Transcultural Origins of Esoteric Buddhism

KŪKAI

密教のルーツとマンダラ世界

現存唯一 空海プロデュースの両界曼荼羅
国宝 高雄曼荼羅
修理後初公開!!



2024. 4.13(土) — 6.9(日)

※会期中、一部の作品は展示替を行います。

主な展示替 前期展示:4月13日(土)〜5月12日(日) 後期展示:5月14日(火)〜6月9日(日)

◎開館時間:午前9時30分〜午後5時 ※入館は閉館の30分前まで

◎休館日:毎週月曜日、5月7日(火)

※ただし、4月29日(月・祝)、5月6日(月・休)は開館

◎主催:奈良国立博物館、NHK奈良放送局、NHKエンタープライズ近畿、読売新聞社

◎学術協力:高野山大学

◎協賛:NISSHA、きんでん、築野グループ、パナソニック ホールディングス、非破壊検査

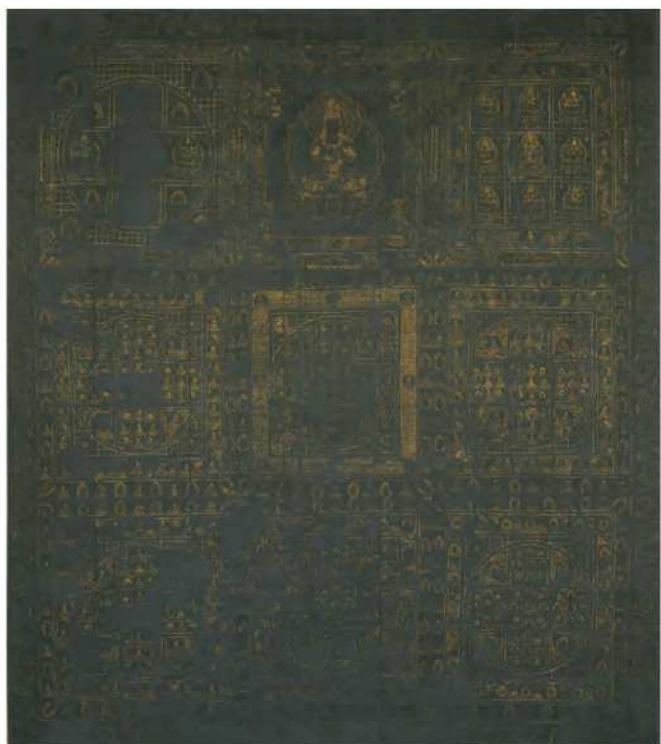
◎協力:インドネシア国立中央博物館、陝西省文物局、陝西省文化交流中心、西安碑林博物館、種智院大学、日本香堂、仏教美術協会

奈良国立博物館
NARA NATIONAL MUSEUM



修理後初公開!

日本最古、空海自身が制作に関わった現存唯一の両界曼荼羅。



国宝 両界曼荼羅(高雄曼荼羅)のうち金剛界
平安時代(9世紀) 京都・神護寺 [後期展示]



国宝 両界曼荼羅(高雄曼荼羅)のうち胎藏界
平安時代(9世紀) 京都・神護寺 [前期展示]

国宝約30件、重要文化財約60件で、
密教の源流と空海密教の実像に迫る!

第1章 密教とは——空海の描いた世界

空海は、「密教は奥深く文筆で表し尽くすことが難しい。そこで図や絵を使って悟らない者に開き示すのだ」と述べました。本章では、密教世界の中心である大日如来とそれを取り囲む仏たち、胎藏界・金剛界という2つのマンダラの世界を、立体的な空間で展示します。



奈良における
弘法大師信仰を象徴する姿



重要文化財 弘法大師坐像
鎌倉時代(13~14世紀)
奈良・元興寺

第2章 密教の源流 ——陸と海のシルクロード

密教は仏教発祥の地・インドにおいて誕生しました。その根本経典とされるのが「大日経」と「金剛頂経」です。「大日経」は、陸路を通過して唐に入ったインド僧、善無畏により漢訳され、「金剛頂経」は、海路を経て唐に入ったインド出身の金剛智によってもたらされました。

国際共同プロジェクトで修理後、日本初公開!

インドネシアに密教が伝わっていた!
金剛界曼荼羅彫像群(ガンジュク出土)のうち大日如来
東部ジャワ期(10世紀)
インドネシア国立中央博物館



密教のマンダラ世界を体感できます!

5 軀が揃って伝わる最古の五智如来像
国宝 五智如来坐像
平安時代(9世紀)
京都・安祥寺



第3章 空海入唐と恵果との出会い ——胎藏界と金剛界の融合

讃岐国に生まれた空海は、山林などでの修行を経た後、遣唐使の一員として学ぶ機会を得て唐に渡りました。そして、長安で密教の師、恵果阿闍梨と運命的な出会いを果たします。



荒れ狂う海を越え、遣唐使船に乗って唐に向かう空海
重要文化財 弘法大師行状絵詞 巻第三[部分]
南北朝時代(14世紀) 京都・教王護国寺(東寺) [後期展示]



国宝 諸尊仏龕
中国・唐(8世紀) 和歌山・金剛峯寺
空海が唐から持ち帰ったと伝わる、唐代美術の傑作



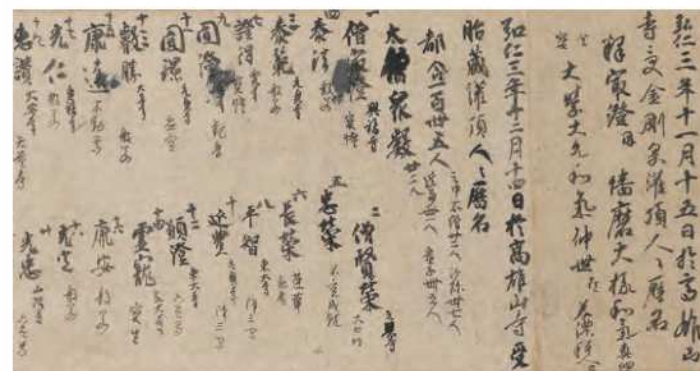
長安で密教を学んだ空海も見たかもしれない?
一級文物 文殊菩薩坐像
中国・唐(8世紀)
中国・西安碑林博物館



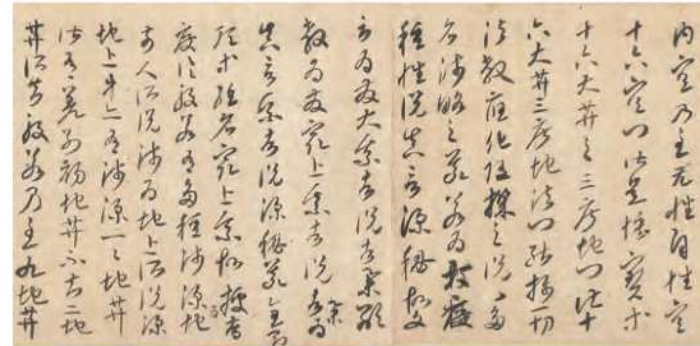
中国密教の大成者である不空から恵果、空海へと伝えられ、空海が唐から持ち帰ったと考えられる法具
国宝 金銅密教法具
中国・唐(9世紀)
京都・教王護国寺(東寺)

第4章 空海の帰国 神護寺と東寺 ——密教流布と護国

帰国した空海は、神護寺を拠点に密教の流布を行い、多くの僧侶たちが密教を学ぶようになりました。また朝廷の信頼を得た空海は、平安京の東寺を任せられ、密教による護国の役割も期待されていきました。



空海の自筆、最澄らの名も記された重要な史料
国宝 灌頂歴名[部分]
平安時代(9世紀)
京都・神護寺 [前期展示]



空海の執筆活動の息づかいを感じられる書き込みも
国宝 金剛般若経開題残巻[部分]
平安時代(9世紀)
奈良国立博物館 [前期展示]

第5章 金剛峯寺と弘法大師信仰

仏教界において、重要な役割を担うようになっていった空海。その一方で自然の中で心静かに修行し、瞑想したいという望みを持ち続けていました。やがて朝廷の許可を得て、理想の地において金剛峯寺の建立に着手します。

空海が入唐する際に荒れた海を鎮めるために出現した観音の姿と伝わる



国宝 伝船中湧現観音像
平安時代(12世紀)
和歌山・龍光院 [前期展示]